

三相等偈

Tilakkhaṇādigāthā



Sabbe saṅkhārā aniccā'ti,
サッペー サンカーラー アニツチャー デイ
yadā paññāya passati;
ヤター パンニヤーヤ パツサティ
Atha nibbindati dukkhe,
アタ ニッピндаディ トウツケー
esa maggo visuddhiyā.
エーサ マツコー ウィスツティヤー

Sabbe saṅkhārā dhkkhā'ti,
サッペー サンカーラー トウツカー テイ
yadā paññāya passati;
ヤター パンニヤーヤ パツサティ
Atha nibbindati dukkhe,
アタ ニッピндаディ トウツケー
esa maggo visuddhiyā.
エーサ マツコー ウィスツティヤー

Sabbe dhammā anattā'ti,
サッペー タンマー アナッター デイ
yadā paññāya passati;
ヤター パンニヤーヤ パツサティ
Atha nibbindati dukkhe,
アタ ニッピндаディ トウツケー
esa maggo visuddhiyā.
エーサ マツコー ウィスツティヤー

すべての形作られたものは「無常」であると、
智慧によって観るそのときに、
苦しみを厭い離れる。
これこそ人が清浄になる道である。

すべての形作られたものは「苦」であると、
智慧によって観るそのときに、
苦しみを厭い離れる。
これこそ人が清浄になる道である。

すべてのものごとは「無我」であると
智慧によって観るそのときに、
苦しみを厭い離れる。
これこそ人が清浄になる道である。

仏陀は比丘たちに向かって、この様な偈を唱えた ………

Appakā te manussesu, ye janā pāragāmino;
アツパガー テー マヌッセース イエー チャナー パーラカーミノー
Athāyaṃ itarā pajā, tīramevānudhāvati.
アターヤン イタラー パチャー ディーラメワーヌターワティ

Ye ca kho sammadakkhāte,
イエー ジャ コー サンマツッカーデ
dhamme dhammānuvattino;
タンメー タンマーヌワツティノー
Te janā pāramessanti, maccudheyyaṃ
テー チャナー パーラメーサンティ マツチュタイヤン
suduttaraṃ.
ストウッタラン

Kaṇhaṃ dhammaṃ vipphāya,
ガンハン タンマン ウィツパハーヤ
sukkaṃ bhāvetha paṇḍito;
スツガン パーウエター パンティドー
Okā anokamāgama,
オーガー アノーガマーカンマ
viveke yattha dūramaṃ.
ウィウエーゲー ヤッタ トウーラマン

Tatrābhiratimiccheyya, hitvā kāme akiñcano;
ダツタラーピラディミツチェイヤ ヒツダワー ガメー アギンチャノー
Pariyodapeyya attānaṃ, cittaklesehi paṇḍito.
パリヨータペイヤ アッターナン チツタガレーセーヒ パンティトー

「人間の中であって、彼岸(涅槃)に至る人々は少ない。
他の多くの人々は岸のほとりで彷徨うばかりである。

正しく説かれた真理にふさわしく行う人びとは、渡るこ
との極めて難しい「悪魔の罠」とされる煩悩を超えて、
彼岸に至ることができる。

賢者は、悪しき行いを捨て、善き行いを為すべきである。
家(生死の循環)から出て、家の無いところに来て、
欲楽を捨て去り、憂いなき者となって、
喜びがたい遠離(孤独)における喜びを求め、

心の穢れを去り、
おのれを浄めるがよい。

Yesaṃ sambodhiyaṅgesu,

イエーサン サンポーティヤンケース

sammā cittaṃ subhāviṭṭaṃ;

サンマー チットン スパーウィタン

Ādānaṭṭhānissagge, anupādāya ye ratā;

アーターナパティニツサツケー アヌパーターヤ イエー ラダー

Khīṇāsavā jutimanto, te loke parinibbutā'ti.

キーナーサワー チュディマンドー デー ローゲー パリニブダー ディ

心を正しく修^{おさ}めた賢者は、

すべての覚知たる法において執著がなく、執著から解き

放れたことを喜ぶ。

その人は、煩悩を滅ぼし尽くし、この世の中において輝

き、寂滅している」と。

Aniccā vata saṅkhārā uppādavayadhammino,

Uppajjitvā nirujjhanti tesaṃ ūpasamo sukho.

すべての形作られたものは無常であり、

生じては滅びゆく性質をもつ。

生じては滅びる。

これら形作られたものの鎮^{しず}まりが安楽である。